

都民の城（仮称）改修基本計画【概要】

I 旧こどもの城の概要

≪建築概要≫

所在地：渋谷区神宮前五丁目53番1号
敷地面積：9,924.62㎡
延床面積：41,699.87㎡
階数：地上13階・地下4階
竣工年月：昭和60年9月（築34年）

≪経緯≫

昭和60年11月 「こどもの城」開館
平成27年3月 「こどもの城」閉館
令和元年9月 東京都が取得

≪施設外観≫



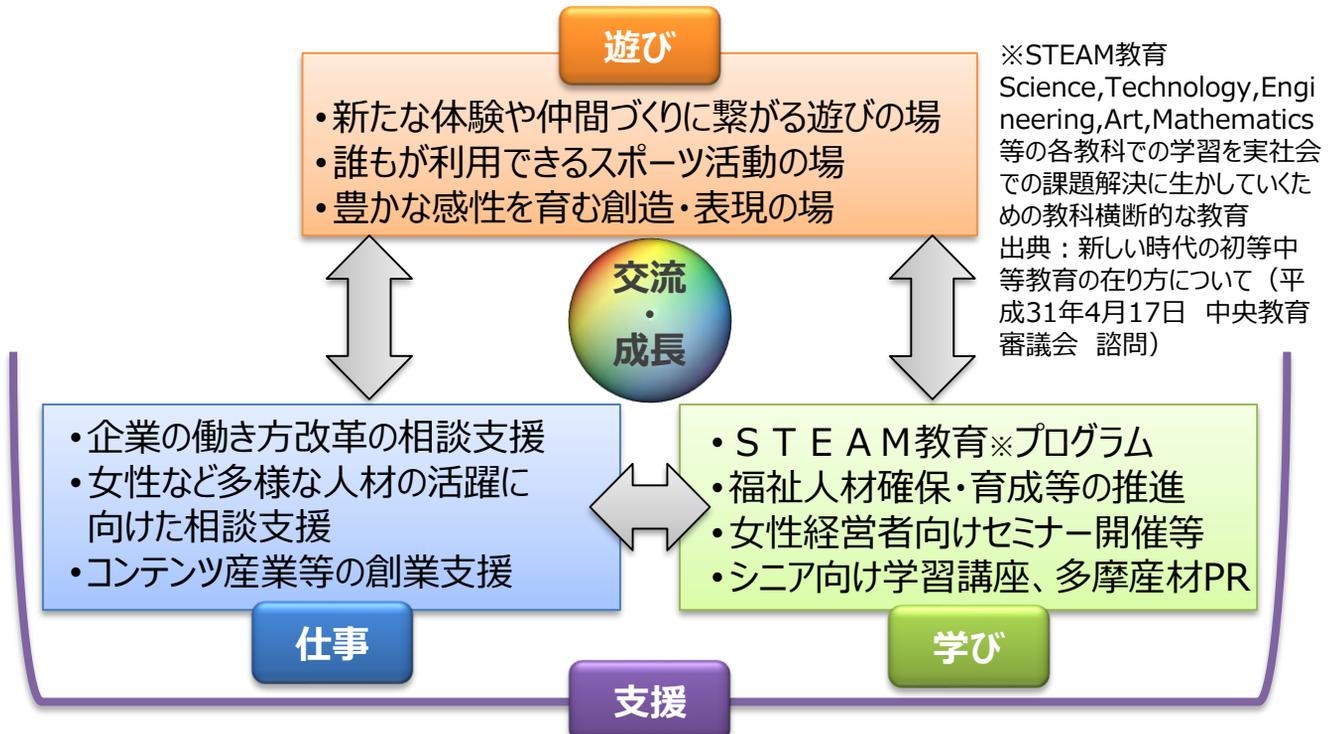
II 都民の城(仮称)改修基本計画策定について

東京都は、令和元年9月に取得した旧こどもの城の土地及び既存建物について、誰もが利用できる複合拠点「都民の城(仮称)」として活用するため、改修基本計画を策定しました。

本計画については、パブリックコメントの結果を踏まえ、「中間のまとめ」から「IV 整備方針・施設利用イメージ」と「VI 今後の事業スケジュール(予定)」を一部修正しました。

III 改修後の目指す姿

遊び・学び・仕事を通じて、子供をはじめとした都民が交流し、成長できる場



集約されたサービスで、遊び・学び・仕事を「支える」

IV 整備方針・施設利用イメージ

改修にあたっては、都民の城（仮称）が、当面の間の活用予定であることから、改修工事費を最小限に抑えることを前提とし、既存建物を可能な限り活かすとともに、旧劇場部分の舞台設備を機能縮小し、地下2階プール施設を廃止します。

遊び

**遊びを入口に、社会を
生き抜く力を身につける場**

新たな体験・仲間づくりの場やスポーツ施設等を設置し、様々なプログラムを提供することで、楽しみながら体づくりやスキル・能力・豊かな感性が身につく施設

学び

**あらゆる世代に対応した
学びを提供する場**

子供向けの体験・教育プログラムや、福祉人材・女性経営者への研修、100歳まで学べる環境など、あらゆる世代に対する学びを提供する施設

仕事

**これからの時代に向けた
仕事を応援する場**

グローバル化進展、人手不足深刻化に対応するため、創業活発化や生産性向上、人材の活躍を支援し、東京の経済の持続的成長を支える施設

多目的ホール(旧青山劇場・旧青山円形劇場)

舞台芸術の創造・発信地としての「劇場」から、芸術文化活動等に幅広く応える「多目的ホール」へ改修可動式床機構は復旧せず、吊物等のスバック調整は行うが、既存の構造等は可能な限り残して活用

賑わい施設

レストラン・カフェの設置により利便性向上、広場(有効空地)の活用による開放性の確保や賑わい創出

13F	高層部 仕事と学びを 中心とする エリア
12F	
11F	
10F	
9F	
8F	
7F	
6F	

5F	低層部 遊びを中心とするエリア	屋上
4F		
3F		
2F	エントランスエリア	多目的 ホール
1F		
B1		
B2	スポーツ施設/駐車場	
B3	駐車場	
B4		

V 概算工事費

新築当時の初期建設工事費を基に、工事単価の補正、想定改修範囲や見積金額を用いて積算しています。今後、設計等を通じて改修内容の精査に努めてまいります。

約136億円(税別) 内訳：建築・設備(舞台除く)約103億円、舞台設備約33億円

VI 今後の事業スケジュール(予定)

(年度)

令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
基本計画	設計等・改修工事			供用開始
運営・名称に関する検討				

※供用期間は、周辺都有地との一体活用の検討状況を踏まえ調整(最短で令和11年まで)